

# City Cast NEWS

Fukushima

～楽しむ、変わる、福島を変える～

第5号

2020年8月26日（水）

発行元：福島県オリンピック・  
パラリンピック推進室

## 教えて！City Cast ～会津のおすすめと今の気持ち～

第2弾♪

先月号から、県内各地の魅力や都市ボランティアを紹介するコーナーを連載しております！

第二弾は、会津エリアの都市ボランティアをご紹介します！今回ご協力いただいたCity Castは、福島県職員で会津農林事務所に勤務されている今井貴浩さんです！

### 齋藤：都市ボランティアに申し込まれたきっかけは？

**今井：**もともと国内外を問わず旅行が趣味で、国内旅行で観光ボランティアの案内を受けた経験から、いつか自分もやってみたいと思っていたんです。

仕事から、なかなかそういったことに携わることはないだろうと思っていたところに今回のオリンピック・パラリンピックボランティアの募集を知って、人生において二度とない機会だと思いました。ただ、ちょうど結婚が決まって、今後家庭の事情がどうなるか不安もあったのですが、妻に相談したところ快く応援してくれたので、安心して申し込むことができましたね。



▲大会の延期が決定し、本格的に英会話の勉強を始めたという今井さん。毎朝の通勤時間を利用して、ラジオ英会話を聞いているとのことでした。

### 齋藤：ボランティア活動の延期が決まったときの率直な気持ちは？

**今井：**当時の状況では、迎えるボランティア側も、観客として来られる皆さんも心配だと思うので、延期はやむを得ないし、当然の判断だと思いました。

自分としては、活動まで時間ができて、新しいことにチャレンジする良い機会ができた跟前向きにとらえ、実際に英会話の勉強も始めましたし、他にも新しい趣味として、DIY（家具などを手作りする）やキーボード演奏も始めました。

◀DIYでは、なんと、ベッドを制作中だそうですよ！



### 齋藤：会津エリアのおすすめスポットは？

**今井：**会津若松で有名なものはとてもたくさんありますが、手軽に伝統的な食文化を体験できる、老舗菓子店めぐりをおすすめしたいですね。『本家長門屋』の会津駄菓子や『白虎堂』の塩大福、そして『小池菓子舗』のあわまんじゅうは柳津町の銘菓ですが、鶴ヶ城の近くでも食べることが出来ます。街を歩くだけでも、レトロな看板や城下町の風情が感じられて楽しめますよ。

会津エリア全体だと、司馬遼太郎による小説『峠』が映画化して近日公開されるので、作品の題材となっている越後長岡藩家老・河井継之助の記念館がある只見町にも、ぜひ足を運んでいただきたいですね。

### 齋藤：活動する上で、やりたいことや来県者に伝えたいことは？

**今井：**会津は、歴史や文化があり自然豊かな側面がある一方、会津大学などグローバルで最先端の技術を持つ側面もあって、それらが融合している不思議な地域だと感じています。実際にぜひ足を運んで、実感して欲しいと思っています。そして観光名所を回るだけではなく、一歩足を伸ばせば、面白い発見があります。地元の人間として、そういったところを伝えていきたいですね。外国の方には、もちろん英語でサポートしたいです。

取材のために、自前の三島町の桐下駄 ▶  
を用意していただきました！素敵ですよ♪



## 担当者のつぶやき

取材にご協力いただいた今井貴浩さん、ありがとうございました！

会津若松が地元というだけあって、歴史やお城にも詳しい今井さんに、私自身も是非観光ボランティアをお願いしたいなと思いました。ほかのボランティアの皆さんも、活動に向けて頑張っていることがあれば、ぜひ教えてくださいね！City Cast NEWSへのご感想も、引き続きお待ちしております！

## 日本財団ボランティアサポートセンターを紹介します！



▲左から日向野さん、森さん、園部さん  
笑顔が素敵でバランス力抜群のお三方です！



▲オンライン交流会での  
運営側の様子

(一財)日本財団ボランティアサポートセンターは、都市ボランティアの皆さんへよりよい研修を提供するため、福島県と協定を結んでいます。昨年行われた共通研修では、全ての回で講師を務めていただきました。今後実施するリーダー研修や配置場所別研修でも県と協力して準備を進めていただいています！

※当該団体は、2017年6月に東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会と日本財団が締結したボランティアの連携・協力に関する協定に基づき、当該協定に係る事業を実施する団体として設立されました。

### ～ボラサポの皆様からのメッセージ～

City Cast Fukushimaの皆さん、こんにちは！日本財団ボランティアサポートセンターです。昨年、県内各地で開催された共通研修でお会いした方も中にはいらっしゃると思います。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、予定していた研修などが実施出来なくなってしまい、私たちもとても残念に思っています。そこで、日本財団ボランティアサポートセンターでは、「都市ボランティア合同オンライン交流会」を開催しました。私たちがCity Cast Fukushimaの皆さんの顔をまた見ることが出来て嬉しかったです。またどこかで直接お会いできる日が来ると思います。それまで、お互い元気に過ごしましょうね！

## 都市ボランティア合同オンライン交流会が開催されました！

札幌市、宮城県、千葉県そして福島県のCity Castを対象としたインターネット上で行う「都市ボランティア合同オンライン交流会」が開催されました。この交流会は、新型コロナウイルス感染症により、集合型の研修ができない中、少しでもボランティアの皆さんの交流の機会を増やし、大会に向けてのモチベーション向上を図っていただこうと、日本財団ボランティアサポートセンターが主催して計4回開催されたものです。今後もこのような企画がございましたら皆様にご案内いたしますので、是非奮ってご参加ください。

### <開催実績>

- 第1回(2020年7月15日(水) 14:00~15:30開催)  
参加者64人(うち福島県16人)
- 第2回(2020年7月22日(水) 18:30~20:00開催)  
参加者46人(うち福島県9人)
- 第3回(2020年8月1日(土) 10:00~11:30開催)  
参加者74人(うち福島県20人)
- 第4回(2020年8月9日(日) 13:30~15:00開催)  
参加者72人(うち福島県24人)



▲毎回参加者の皆さんには、『私のCity Cast宣言』を紙に書いてご自分の思いを伝えていただきました！  
昨年の共通研修でも、この宣言を書いていただきましたね。大会が延期となり、モチベーションに変化のあった方も、今一度見返していただくのはいかがでしょうか。

### 参加者の感想

- ・先が見えないこの時期だからこそ、**オンラインで交流することは非常に有意義**で、新しい生活様式を認識しました。
- ・オリンピックが延期になって、モチベーションが下がりがかけていましたが、交流会に参加して**ボランティアへの申込時の意気込みやオリンピックへの期待感が復活**しました。
- ・短時間でしたが、**多くの方と交流することが出来ました**。zoom初心者向けにも段取りよく説明があり、スムーズな運営でした。

## 重要なお知らせ

先月号でお伝えしておりましたが、**2021年に活動いただけるかどうかの現時点での確認**について、**8月中にご連絡差し上げる予定**です。今後の活動に関するQ&Aを作成し、ふくしまプラス2020に掲載しておりますので、ご確認ください。URL : <https://www.fuku-plus2020.jp/>